

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 2 月 14 日(2022.2.14)

【公開番号】特開 2021-68516(P2021-68516A)

【公開日】令和 3 年 4 月 30 日(2021.4.30)

【年通号数】公開・登録公報 2021-020

【出願番号】特願 2019-190861(P2019-190861)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/629(2006.01)

10

【F I】

H 0 1 R 13/629

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 3 日(2022.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0 0 1 0】

本開示の構成によれば、第 1 レバーと第 2 レバーを初期位置から嵌合位置側へ回動させる過程では、操作部に付与した操作力が、連結部と第 2 レバーを介して第 2 軸に伝達されることによって、倍力機能が発揮される。この間、連結部が、ガイド部に沿って操作部側から第 1 軸側へ相対変位するので、操作部は、第 2 軸から遠ざかるように変位する。したがって、第 2 レバーを回動させるために必要な操作力が小さくて済む。第 1 レバーと第 2 レバーを長くする必要がないので、大型化することなく操作力を低減することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【0 0 2 5】

左右両 第 2 アーム部 2 5 には、一对の駆動軸 2 9 が形成されている。第 2 レバー 2 4 の長さ方向において、駆動軸 2 9 は、第 2 レバー 2 4 の中央と第 2 軸 2 7 との間に配置されている。つまり、第 2 軸 2 7 から駆動軸 2 9 までの長さ寸法は、第 2 軸 2 7 から連結部 2 8 までの長さ寸法よりも短い。駆動軸 2 9 は、軸線を左右方向に向けて第 2 アーム部 2 5 の内面から突出した形態である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0 0 3 9】

本実施例のレバー式コネクタ F によれば、第 1 レバー 1 8 と第 2 レバー 2 4 を初期位置から嵌合位置側へ回動させる過程では、操作部 2 0 に付与した操作力が、連結部 2 8 と第 2 レバー 2 4 を介して第 2 軸 2 7 に伝達されることによって、倍力機能が発揮される。この間、連結部 2 8 が、ガイド部 2 2 に沿って操作部 2 0 側から第 1 軸 1 4 側へ相対変位するので、操作部 2 0 は、第 2 軸 2 7 から遠ざかるように変位する。したがって、第 2 レバー 2 4を回動させるために必要な操作力が小さくて済む。第 1 レバー 1 8 と第 2 レバー 2 4

50

を長くする必要がないので、大型化することなく操作力を低減することができる。

10

20

30

40

50